

【重点審議事項の論点整理について（琵琶湖環境部所管分）】

重点審議事項	委員会における取組状況	主な論点	委員会における主な意見	備考
琵琶湖をとりまく環境の改善と継承について	<p>○令和5年6月1日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度中に策定、変更予定の計画等について <p>○令和5年7月10日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度「びわ湖の日」の取組について ・水草・オオバナミズキンバイ等の状況について ・琵琶湖森林づくり基本計画(第2期)見直し(素案)について ・近江富士花緑公園指定管理者選定について <p>○令和5年8月9日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・琵琶湖森林づくり基本計画(第2期(改定案)に対する意見・情報の募集について 	外来生物対策について	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度末のナガエツルノゲイトウの残存面積が過去最大になっており、令和5年度に普通の対応をしているのでは増加に歯止めをかけられないので、適宜状況に応じて、補正予算を含めて対応を検討されたい。 ・侵略的外来水生生物については、伊庭内湖など国スポ会場になる場所において、国スポに支障が出ないように準備されたい。 ・ミシシippアカミミガメの駆除についても、行政がしっかりと責任をもって処分する姿勢が必要なので、早急に体制を整えられたい。 	
	<p>●令和5年9月11日 県内行政調査</p> <p>滋賀県立近江富士花緑公園について(野洲市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林公園の魅力向上について <p>○令和5年10月5日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・琵琶湖森林づくり基本計画(第2期)(改定案)に対して提出された意見・情報とそれらに対する滋賀県の考え方について ・次期生物多様性しが戦略(骨子案)について ・滋賀県ニホンザル第二種特定鳥獣管理計画(第5次)の素案について ・令和4年度有害鳥獣の捕獲状況について 	鳥獣対策について	<ul style="list-style-type: none"> ・ニホンザルの生活環境被害について、統計上のデータが現状はないとのことなので、今後生活環境被害についての調査等により資料上明示できるようにされたい。 ・カワウの被害について、最近は竹生島だけでなく、青土川や野洲川などいろんな河川域に生息を拡大している。川の周辺には民家があり、銃器の使用等の制約により今までの防除対策では生息数を減らすことができないため、従来の方法とは異なる対策を早急に決めて、集中的に対策していただきたい。 	

<p>○令和5年11月22日 常任委員会 ・(仮称)生物多様性しが戦略2024(素案)について</p> <p>○令和5年12月15日 常任委員会 ・滋賀県立近江富士花緑公園の魅力向上について ・滋賀県立自然公園条例の一部を改正する条例案要綱に対する意見・情報の募集について ・(仮称)生物多様性しが戦略2024の原案に対する意見・情報の募集について ・滋賀県ニホンザル第二種特定鳥獣管理計画(第5次)の原案に対する意見・情報の募集について</p> <p>○令和6年1月30日 常任委員会 ・高時川の長期濁水の原因及び対策について</p>	<p>森林公園の魅力向上について</p>	<p>・近江富士花緑公園の指定管理者について、県が主導的に整備する中身を具体的に示してから、指定管理者を選定すべきである。</p> <p>・近江富士花緑公園の宿泊施設について、どうすれば収益できるのか幅広く検討し、例えば希望が丘公園との連携した取組など、今回の指定管理期間5年間の中で全体としてしっかりと考えて、次につなげていただきたい。</p>
	<p>びわ湖の日について</p>	<p>・インスタグラムだけでなく、ユーチューブのショート動画や、T i k T o k も若い世代には受けが良いので、若い世代をターゲットにするのであれば、他の媒体も含めて検討していただきたい。</p> <p>・象徴的なびわ湖の日のポスターを見かけることもあるが、もう少し具体的なアクションを、より分かりやすく伝えていくことが大事なので検討されたい。</p> <p>・びわ湖の日だけ清掃すればいいということではなく、びわ湖の日をきっかけに、予防も含めて365日ごみを捨てないように、みんなできれいにしていこうという運動が進むような支援を考えていただきたい。</p>
	<p>高時川の長期濁水について</p>	<p>・大音波谷川では令和7年度からの対策工事も予定されているが、令和6年度に更なる豪雨があるかもしれないので、被害を繰り返さないためにも可能な限り速やかに対処されたい。</p> <p>・スキー場の開発許可申請をしている事業者への是正措置について、違反状態が是正されるまで監視を継続していくべきである。</p>

【重点審議事項の論点整理について（琵琶湖環境部所管分）】

重点審議事項	委員会における取組状況	主な論点	委員会における主な意見	備考
<p>環境負荷の少ない持続可能な循環社会の実現について</p>	<p>○令和5年7月10日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公益法人等の経営状況説明書について（公益財団法人滋賀県環境事業公社） ・出資法人経営評価の結果について（公益財団法人滋賀県環境事業公社） <p>●令和5年7月26日 県内行政調査 ゲンゼ守山サーキュラーファクトリー（守山市）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラスチック資源循環戦略の取組について <p>○令和5年8月9日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しがプラスチックチャレンジプロジェクトについて <p>○令和5年10月5日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議第128号 流域下水道事業に要する経費について関係市町が負担すべき金額を定めることにつき議決を求めることについて ・琵琶湖環境科学研究センター第六期中期計画（令和2年度～令和4年度）の研究成果について <p>●令和5年10月31日 県外行政調査 和白水処理センター（福岡市東区）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水汚泥から再生リンを回収する取組について 	<p>プラスチックごみの資源循環について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で使用した飛沫防止用アクリル板がごみとして大量に出ているが、その板を必要とする人と不要な人がマッチングすれば譲るといった仕組みなど、新しい利活用方法について検討されたい。 ・しがプラスチックチャレンジプロジェクトでプラスチックごみゼロを目指すとうたっているが、意識だけでは変えられないので、具体的なごみの種類や量などのデータを集めて、その分析をもとに方針や施策を打ち出すべきである。 ・プラスチックごみを分別回収せず燃やして熱利用する市町もある中、全県的に分別回収に取り組もうというのは、県が勝手に独りで進めているようなイメージで終わってしまいかねないので、市町や県内事業者にも共感や理解を得て取り組んでもらえるように、考えなければならない。 	
	<p>○令和5年10月5日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議第128号 流域下水道事業に要する経費について関係市町が負担すべき金額を定めることにつき議決を求めることについて ・琵琶湖環境科学研究センター第六期中期計画（令和2年度～令和4年度）の研究成果について <p>●令和5年10月31日 県外行政調査 和白水処理センター（福岡市東区）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水汚泥から再生リンを回収する取組について 	<p>災害ごみおよび産業廃棄物処理について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害ごみの仮置き場は、発災直後は特に必要だが、それをさらにどう処理していくのか、その先まで考えた計画を立てる必要がある。 ・県内の最終処分場が10月で受け入れを終了する中、県外の持込み先があっても処分費用等がかさみ、結局不法投棄に走る業者がありうるので、王道として安定した処分場を県内で見つけるべきである。 	

	<p>○令和5年12月15日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none">・滋賀県環境影響評価条例の一部を改正する条例案要綱に対する意見・情報の募集について・下水汚泥の有効活用状況および今後の取組予定について	<p>下水汚泥の有効活用状況について</p>	<p>・下水汚泥の再生リンの有効活用は、他府県でも取組例があるが、琵琶湖を抱える滋賀県では、他府県にない問題もある。簡単にはいかないと思うが、有効利用するための研究を引き続き進められたい。</p>	
--	---	------------------------	--	--

【重点審議事項の論点整理について（琵琶湖環境部所管分）】

重点審議事項	委員会における取組状況	主な論点	委員会における主な意見	備考
<p>農業・林業・水産業の多様な人材確保について (林業分野のみ)</p>	<p>○令和5年7月10日 常任委員会 ・森林組合の経営改善に向けた取組について</p> <p>○令和5年8月9日 常任委員会 ・琵琶湖森林づくり基本計画（第2期（改定案））に対する意見・情報の募集について</p> <p>●令和5年9月11日 県内行政調査 滋賀県林業普及センター（野洲市） ・しが森づくりアカデミーについて</p> <p>○令和5年10月5日 常任委員会 ・報第14号 一般社団法人滋賀県造林公社の令和4年度中期経営改善計画に関する経営評価結果について</p> <p>●令和5年10月31日 県外行政調査 株式会社サイプレスナダヤ（愛媛県西条市） ・林業人材の確保について</p> <p>○令和5年12月15日 常任委員会 ・滋賀県の森林・林業行政推進のための造林公社のあり方検討について</p>	<p>林業人材の確保について</p>	<p>・40年を超える長期の森林整備の計画だが、山のことをよく知っている方の多くは高齢であるため、そのノウハウをきちんと受け継いでいけるように、しっかりと考えていくべきである。</p> <p>・環境面ではなく林業という生業として考えたときに、農林水産業をいう枠組みの中で考える必要があるので農政水産部において林業人材確保を考えなければならないのではないか。</p> <p>・昔の林業学科のように、原木にしいたけを植えたり、枝の伐採を経験したり、そういった体験を高校生のうちからできるような取組をしていかなければ次世代の林業の担い手を創出することはできないのではないか。</p>	

【重点審議事項の論点整理について（琵琶湖環境部所管分）】

重点審議事項	委員会における取組状況	主な論点	委員会における主な意見	備考
<p>滋賀県産農林畜産水産物のさらなる生産・流通・販売促進に向けた取り組みについて (林業分野のみ)</p>	<p>○令和5年10月5日 常任委員会 ・報第14号 一般社団法人滋賀県造林公社の令和4年度中期経営改善計画に関する経営評価結果について</p> <p>●令和5年10月31日 県外行政調査株式会社サイプレスナダヤ（愛媛県西条市） ・原木からCLT製材の製造・販売について</p> <p>○令和5年12月15日 常任委員会 ・滋賀県の森林・林業行政推進のための造林公社のあり方検討について</p>	<p>一般社団法人滋賀県造林公社の在り方について</p> <p>滋賀県産材の流通・販売促進について</p>	<p>・どんな組織においても、若い方々のエネルギーは、世の中をけん引するパワーがあるので、滋賀県造林公社がしっかりと若い方々のハンドリングやオペレーションができるような体制を、県としても後押ししていただきたい。</p> <p>・A材が出ていけば一番良いが、近代化する建築では、A材はもう必要性がなくなってきているように感じるので、B材やC材に力を入れるべきである。</p> <p>・来年1年間かけて森林審議会へ諮問されるが、造林公社の公益的な役割の部分について、いろいろな視点から造林公社の位置づけを改めて整理していただきたい。</p> <p>・滋賀県産材の利用促進について、公共施設の設計や工事に関する積算の段階で、きちんと県産材の利用や内装等の木質化を、発注者と受注者双方が理解して、積算に盛り込んでおかなければならない。</p> <p>・大阪・関西万博をはじめ、県内の市町も含めて、いろいろなところでいろいろなイベントが開催されていて、そういった先々の利用可能性を見据えて行動しないといけないのではないか。</p>	

【重点審議事項の論点整理について（農政水産部所管分）】

重点審議事項	委員会における取組状況	主な論点	委員会における主な意見	備考
<p>農業・林業・水産業の多様な人材確保について（林業分野を除く）</p>	<p>○令和5年6月1日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度中に策定、変更予定の計画等について <p>○令和5年7月7日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公益法人等の経営状況説明書について（滋賀県農林漁業担い手育成基金および滋賀県水産振興協会） ・出資法人経営評価の結果について（滋賀県農林漁業担い手育成基金および滋賀県水産振興協会） ・琵琶湖漁業における漁協組織再編に向けた取組状況について ・水産試験場本館等の施設更新について 	<p>新規就農者等の支援について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・就農相談活動について、農地提供者とのマッチング後に相性が合わなくなることもありうるので、マッチング後も伴走支援されたい。 ・新規就農者はイチゴの新品種「みおしずく」の生産を勧められることが多いようだが、くれぐれも「みおしずく」の種苗が他に流出しないように管理を徹底されるよう新規就農者への指導も含めて対応されたい。 ・頑張って農業委員に占める女性の割合を増やそうと努力していただいていると思うが、まだ少ないのでより一層女性へのサポートを手厚くしていただきたい。 	
	<p>●令和5年7月26日 県内行政調査 ほ場整備事業工事現場（東近江市）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマート農業の取組について 	<p>漁協の再編について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての漁協が再編に賛同ではないのであれば、一つの漁協になるメリットに関するエビデンスを集めながら、協力して体制を作っていく必要がある。 ・林業においても県内で一つの組合へ統一する動きがあるため、それと足並みをそろえて、令和6年度当初予算化に向けて部局間連携を図っていただきたい。 	
	<p>●令和5年9月11日 県内行政調査 茶業指導所（甲賀市）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オーガニック茶生産者の人材育成について <p>○令和5年10月6日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滋賀県農業・水産業基本計画の進行管理について ・琵琶湖漁業における漁協組織再編に向けた取組状況について 	<p>水産試験場の施設更新について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当委員会にて意見を聴取するというよりは、なるべく急ぐということで進めていただいて、早く方針を決めていただきたい。 ・更新対象外施設も含めて、水産試験場をどのようにするか、一体的に検討していただきたい。 ・港湾施設については、今回の施設更新の対象外だが、すぐそばに県立大学もあるというフィールドを生かした物資輸送拠点として、防災部局との連携も考慮されたい。 	

	<p>●令和5年11月1日 県外行政調査 雨滝音田の棚田（愛媛県西条市） ・中山間地域における棚田の維持および後継について</p> <p>○令和5年12月14日 常任委員会 ・琵琶湖漁業における漁協組織再編に向けた取組状況について</p> <p>○令和6年1月30日 常任委員会 ・水産試験場本館等整備基本方針（原案）</p> <p>○令和6年3月7日 常任委員会 ・琵琶湖漁業における漁協組織再編に向けた取組状況について ・水産試験場本館等整備基本計画（案）について</p>	<p>スマート農業の取組について</p>	<p>・スマート農業ということで、水利施設を自宅から遠隔でコントロールできるような整備もされているが、本当に農業従事者の労力を省けるように、より一層勉強しながら取り組まれない。</p>	

【重点審議事項の論点整理について（農政水産部所管分）】

重点審議事項	委員会における取組状況	主な論点	委員会における主な意見	備 考
<p>滋賀県産農林畜産水産物のさらなる生産・流通・販売促進に向けた取り組みについて (林業分野を除く)</p>	<p>○令和5年6月1日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度中に策定、変更予定の計画等について ・滋賀県資源管理方針の策定について <p>○令和5年7月7日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議第84号 令和5年度滋賀県一般会計補正予算(第2号)について ・公益法人等の経営状況説明書について(公益財団法人滋賀食肉公社および株式会社滋賀食肉市場) ・出資法人経営評価の結果について(公益財団法人滋賀食肉公社および株式会社滋賀食肉市場) ・滋賀県総合防除計画(素案)について 	<p>琵琶湖システムについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ番組を制作して、若年層と県外に向けて動画Web展開を図るなど、琵琶湖システムの発信について、さらに強化していただきたい。 ・どこをターゲットにするかによって使う媒体が変わってくるので、そのあたりも意識して展開してもらいたい。 ・琵琶湖システムの現地視察をされる方との交流事業によって地元が視察疲れにならないように、地元の負担面も含めて持続可能な対応が必要である。 	
	<p>●令和5年7月26日 県内行政調査 JAグリーン近江オーガニック研究会(日野町)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米の新品種「きらみずき」のブランド化について <p>●令和5年9月11日 県内行政調査 茶業指導所(甲賀市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オーガニック茶の生産・流通販売について <p>○令和5年10月6日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滋賀県総合防除計画(最終案)について ・畜産収益力強化対策事業費補助金(令和4年度繰越明許費)について 	<p>米の新品種「きらみずき」およびイチゴの新品種「みおしづく」の流通・販売促進について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・流通との連携はとても重要だが、県産イチゴの9割が直売されている現状と聞くので、もっと大手量販店などとの流通ネットワークをつくり続けていただきたい。 ・「きらみずき」は場所や土地柄に関係なく作りやすい品種であることから、販路拡大が上手にいけば、各農家はもうかるので、より一層進めていただきたい。 ・「きらみずき」について、販売価格はJAの取扱いや量販店の取扱いなど、市場動向との関係があるので、全体を見ながら、作付面積の増加をどのようにしていきたいというものが需要ではないか。(051214 加藤委員) ・オーガニック栽培は、多くの労力とコストがかかるため、オーガニック栽培をさらに広めようとするのであれば、その労力やコストに見合った形でしっかりとした流通、販路開拓が必要である。 	

<p>●令和5年10月31日 県外行政調査 JA全農ふくれん（福岡県博多区） ・再生リンを用いた資源循環型肥料「eグリーン」の取組状況について</p> <p>●令和5年11月2日 県外行政調査 吉原食糧株式会社（香川県坂出市） ・香川県産小麦のブランド化について</p> <p>○令和5年12月14日 常任委員会 ・議第132号 令和5年度滋賀県一般会計補正予算（第5号）について ・令和5年産米の作柄と今後の対策について ・令和6年産米の生産目標（生産の目安）について ・アユの資源と早期アユの漁獲状況について ・一般所管事項</p> <p>○令和6年1月30日 常任委員会 ・イチゴ新品種「みおしずく」の推進について</p> <p>○令和6年3月7日 常任委員会 ・滋賀食肉センターのあり方見直しに向けた取組状況について ・琵琶湖漁業の新たな資源管理について</p>	<p>燃油や飼料、肥料の高騰に対する支援事業について</p>	<p>・JAを含め、いろいろなルートを駆使して関係各所に連絡し、物価高騰に対する緊急対策について、各農家への支援漏れがないようにしていただきたい。</p>
	<p>アユの不漁について</p>	<p>・アユを同時期に放流しても餌の取り合いになり大きく成長しないこともあるため、バランスよく放流されたい。また、近年は暑さも違っており、アユが遡上しにくい状況もあるのではないかと。その辺も配慮されたい。</p>
	<p>滋賀食肉センターのあり方について</p>	<p>・滋賀食肉センターにおいて冷蔵設備等の施設面で課題を抱えているのであれば、県においてその都度対応するなど、近江牛のブランド力を落とさないように県も一丸となって取り組まされたい。</p>
	<p>防除計画について</p>	<p>・全国基準の防除計画ができることで、今まで独自に環境こだわり農業を進めてきた当県の先進性が損なわれないように気をつけていただきたい。</p> <p>・特にオーガニック農場において、細やかな配慮が必要となるのが容易に考えられるため、しっかりと各地域で取り組んでいただきたい。</p>